

西アフリカ・コンゴ民主共和国 へのエボラ出血熱対策医療支援

2019年2月19日（火）

参議院会館

Japanese Association of Medical Logistics for Disaster, JAMeLD

一般社団法人

日本災害医療ロジスティック協会

一般社団法人

日本災害医療ロジスティック協会設立

- 2010年12月設立

- 事業目的

- ① 大規模災害発生時に災害医療をバックアップする業務（＝ロジスティック業務）を支援
- ② 災害医療ロジスティック業務を担う要員に対する教育及び研修を行います。
- ③ 災害医療及び災害医療ロジスティック業務の経験を集積して今後の災害対応に活かします。

日本災害医療ロジスティック協会 理事名簿

| | | | | | |
|------|-----------|--|----|--|--|
| 理事長 | 山本 保 博 | 東京曳船病院 病院長 日本医科大学 名誉教授 | 理事 | 秋富 慎司 中田 敬司 千田 良 | 防衛医科大学校 准教授 神戸学院大学 教授 株式会社ノルメカエイシア 代表取締役社長 |
| 副理事長 | 小川 彰 | 岩手医科大学 理事長 | | 餘目 正敏 | 共立医科器械株式会社 代表取締役社長 |
| 副理事長 | 西山 正 徳 | メディカルプラットフォームエイ シア 代表理事 社会福祉法人翠生会 本部長 元厚生労働省健康局長 | | 春田 謙 眞瀬 智彦 熊丸 由布治 鈴木 秀明 山口 孝 | 新関西国際空港株式会社 代表取締役副社長 岩手医科大学 特任教授 株式会社日本防災デザイン 代表取締役社長 田無病院 看護部長 前つくばセントラル病院 事務局長 |
| | | | 監事 | 藤島 正之 | 藤島法律事務所 弁護士 元衆議院議員 |

西アフリカへのエボラ出血熱対策医療支援

1. 2014年10月

西アフリカ3ヶ国の駐日大使閣下とエボラ出血熱対応勉強会を4回開催

- リベリア共和国駐日大使 ヤンゴン・テレウォダ大使
- コンゴ民主共和国駐日大使 ムウエング・ラファエル大使
- ギニア共和国駐日大使 センクラ・シラ大使
- 山本保博医学博士（JAMeLD理事長・東和病院院長）
- 七戸和博医学博士（東京医科歯科大学大学院教授）
- ムワンナタンブエ・ミランガ医学博士（徳洲会アフリカ代表）
- 千田 良（JAMeLD理事・ノルメカエイシア代表取締役）
- ヤン・カールセン（ノルウェー王国野外病院プロジェクト代表）



西アフリカへのエボラ出血熱対策医療支援

2. 2015年8月

リベリア共和国サーリーフ大統領
国賓として来日。

帝国ホテルにて面会。JAMeLDの
勉強会、活動について説明。

西アフリカ・リベリアのサーリーフ大統領は29日、東京都内で日本経済新聞の取材に応じ、エボラ出血熱の流行で大打撃を受けた同国の経済について「再建のためにはインフラ投資が最重要だ」と述べた。インフラの改善を進めることで、2017年までに経済成長率をエボラ熱流行前と同程度の6%前後まで回復させたい考えだ。

サーリーフ氏は昨年猛威を振るったエボラ熱について「新規の患者は出ておらず、危機は終わっ

リベリア大統領



エレン・サーリーフ氏 (Ellen Sirleaf) アフリカ初の女性大統領で、アフリカを代表する政治家。平和と女性

た」と終息を明言した。今後は危機対応から経済再建に軸足を移す。

リベリアでは、エボラ熱の流行で5000人近い死者が出たほか、人の移動が制限されて経済活動がストップした。同国や国際通貨基金(IMF)

性の地位向上に貢献したとして2011年にノーベル平和賞を受賞した。投獄や亡命を経験しても信念を曲げないことから「鉄の女」とも呼ばれる。米ハーバード大修了、財務相などを経て、05年の大統領選で初当選した。76歳。リベリアは人口約430万人。金や鉄鉱石など天然資源が豊富だが、1989年から03年まで続いた激しい内戦で国土が荒廃、経済も破綻した。サーリーフ氏のもと経済は成長軌道に乗り、最貧国からの脱却を目指している。

エボラ熱終息 経済に軸足